



照井 省三 議員
(平和環境社民クラブ)

市民生活総合相談センター利用は 年平均相談件数は1500件

【市長】 平成22年度にスタートした市民生活総合相談センターの利用状況はどのように推移しているか伺う。また、相談員の中で非常勤職員の処遇は、専門的知識を持ち、3～5年のキャリアの職員も一律処遇なのか伺う。その職責を見たときに何らかの改善が必要と考えるがいかがか伺う。

【市長】 平成22年度に同センターが発足して以降、年平均相談件数は約1500件で推移している。相談内容は、悪質商法をはじめとする民事相談が約1000件と相談件数の約9割を占めており、その他は相続関係や生活相談等となっている。

また、処遇については、「花巻市非常勤職員の身分取扱規程」に基づき、職務の内容と責任に応じて適切に決定されるべきものと考えており、今後検証し報酬体系の整備に努めていく。

悪臭公害対策は

【市長】 市は、賢治生誕120年に向け、観光客へのアピール・イベント等を企画しているが、夏休みの時期は悪臭感知件数も多く、その対策は十分か伺う。



市民生活総合相談センター(本庁・新館1階)

【市長】 太田油脂産業から悪臭に対する改善計画が提出され、昨年12月に市の担当職員が立ち入り調査を行った。その結果、改善計画に基づいた措置がとられていることを確認した。また、本年5月から8月に行った臭気測定の結果が昨年比べて改善されており、市民からの苦情件数も減少傾向にあることから、一定の効果をj得ているものと認識している。今後も、立ち入り調査等による悪臭発生防止対策の指導を継続していく。

【そのほかの質問】 教職員の勤務態と子供たちの健康や学校施設の安全対策について



高橋 浩 議員
(花巻クラブ)

図書館等整備の早期実現を 複合施設とする意義も再検討

【市長】 (仮称)花巻中央図書館・こどもの城・中ホール複合施設は、市民、関係機関、団体ともかわり、県との協議の経緯や中心市街地活性化の視点からも早期に実現を図るべきではないか伺う。

【市長】 図書館に500人規模のホールを併設し、こどもの城を含めた複合施設の建設について、必要な駐車台数の確保が難しいなど面的に狭い状況であることから、現在、見直し作業を進めている。それぞれの施設規模や機能について精査を行い、複合施設とする意義も再検討し、場合によっては、それぞれ単独で施設整備をすることも含めた複数案を検討しているところであり、建設候補地についても再検討している。

島バイパス等の整備は

【市長】 ①主要地方道花巻北上線(島バイパス)の整備促進の継続的な予算確保の推進について伺う。

②新花巻駅停車場線、西工区・東工区の整備促進について伺う。

③上台・朝日橋線の整備促進について伺う。



島バイパス予定地

【市長】 ①同路線は交通安全対策はもとより洪水時交通機能確保対策にも大きな効果を発揮するとの観点から着実に整備されるよう県に強く要望していく。

②西工区は、平成25年度から整備を進め本年度、詳細設計が完了予定。東工区は、来年度から事業を進め説明会を経て詳細設計を行う予定である。

③平成25年度から事業を進め、境界測量を実施、隣接の土地所有者と立ち会いを行い境界確定しており、本年度は詳細設計を実施し事業を推進する。

【そのほかの質問】 中心市街地の活性化対策について、新花巻駅周辺地域の開発及び活性化の推進について



阿部 一男 議員
(平和環境社民クラブ)

米価大幅下落の対策は 動向を注視し必要に応じ対応

【市長】 26年産米価が大幅下落している。また、本年から国の経営所得安定対策交付金も半額となった。農業についての市の認識を伺う。

また、農家経営を守るため、国は需給調整策を取るべきだと考えるが市の方針を伺う。

【市長】 農林水産省が発表した本年度水稲の作況指数は「やや良」で、昨年に続く豊作基調となり、昨年産米の販売が低迷する中で民間在庫の増加が見込まれるなど、生産者米価の値下がり心配される状況にある。

また、生産者米価に係る対応については、需給バランスの動向や県の対応を注視しながら、農業団体などの意見を踏まえ、必要に応じた対応を適切に考えていく。

高齢者の安否確認を

【市長】 一人暮らし等高齢者の日常生活の見守りのため、市は「高齢者等訪問相談事業」を展開しているが、対象世帯数と訪問回数を伺う。

また、地域の安否確認および買い物に不便を訴える高齢者問題への取り組みを伺う。



豊作基調で需給の調整が求められる

【市長】 平成25年度の訪問対象世帯は254世帯、訪問回数は2827回となっている。

また、見守り方針については、災害時要援護者台帳の登録推進と地域特性を生かし、高齢者見守り支援ネットワーク事業の拡大など多様な仕組みづくりに努める。買い物困難な高齢者へは、弁当等の宅配事業や大手スーパーの移動販売事業、花巻市社会福祉協議会の「買い物支援事業」なども展開されているが、国の支援制度の活用を含め、市内商店街との検討を進めていきたい。

【そのほかの質問】 介護保険制度改正への対応について



菅原 ゆかり 議員

S L 銀河の継続運行の予定は 来年度も継続運行の予定

【市長】 S L 銀河のこれまでの利用状況を伺う。

また、東日本大震災からの復興と地域活性化、経済効果の点から、来年度もJR東日本に対し運行を要望する考えがあるか伺う。

【市長】 S L 銀河は本年4月12日からJR釜石線で運行しているが、観光客のみならず地元の方々からも大変好評をいただいており、乗車率は9割を超える状況と伺っており、特に「花巻く遠野」間はほぼ満席の状態であり、指定券の入手が非常に困難となっている。

また、JR東日本盛岡支社からは、来年度も引き続き運行する予定と伺っており、本市としても、横軸広域観光を推進する上で、貴重な財産であることから、遠野市や釜石市とも連携を図りながら、さらなる活用を図っていききたいと考えている。

障がい者専用駐車場を

【市長】 花巻市総合体育館にある障がい者専用駐車場をもう少し利便性の高い出入口に近い場所に移動できないか伺う。



内外から好評のS L 銀河

【市長】 総合体育館の駐車スペースについては、日居城野運動公園の中であり、公園区域内の安全対策として車両の乗り入れを制限し、車両と人の動線を分離するとの考えから現在のような配置となっている。冬期間の除雪作業や職員による管理などの問題もあり、体育館付近への設置は困難であるが、平成28年度開催の全国障がい者スポーツ大会に向けた会場運営計画の検討を行う中で、総合体育館における障がい者用駐車場の配置の在り方について検討を進めていく。